

三十四丁目の奇蹟 (Miracle on 34th Street)

観賞日 2023年12月25日 上映時間 96分

【概要】

制作 1947年 アメリカ
監督・脚本 ジョージ・シートン
原案 ヴァレンタイン・デイヴィス
音楽 シリル・モックリッジ、アルフレッド・ニューマン
撮影 チャールズ・クラーク、ロイド・エイハーン
出演 モーリン・オハラ (ドリス・ウォーカー)
ジョン・ペイン (フレッド・ゲーリー)
エドモンド・グウェン (クリス・クリングル)
ナタリー・ウッド (スーザン・ウォーカー)



【あらすじ】

ニューヨーク市の西34丁目にある名門百貨店メイシー。メイシー恒例のクリスマス感謝祭パレードの責任者ドリス・ウォーカーはサンタの代役にそっくりさんのクリスを起用する。ドリスはバツイチで8歳の娘スーザンと二人暮らし。隣に住んでいる独身の弁護士フレッドは美人のドリスに首ったけ。ドリスは現実主義者で、娘もその方針で教育している。一方、クリスは理想主義者で仕事も会社（百貨店）より顧客（子供）本位。ところが、意外にもクリスの評判が良く、メイシー社長はクリスの長期雇用を打ち出しドリスは困惑する。結局、クリスは隣のフレッドの部屋に住まわせることになるが、ある日クリスは反りの合わない精神科医のソーヤにけがを負わせ、精神病院に強制入院させられてしまう。フレッドはクリスを救出のためクリスの弁護を引き受け、前代未聞のサンタ・クロースの存在を問う審問が開始される。果たして、フレッドは法廷でどのようにしてサンタの存在を証明するのか？クリスはスーザンとの約束を守れるのか？

その後何回もリメイクされた、ハートウォーミング・ストーリーの名作。

【解説】

■ポイント

●リメイク版

公開年	主演	種類
1955年	トーマス・ミッチェル	TVドラマ
1959年	エド・ウィン	TVドラマ
1973年	デヴィッド・ハートマン	TVドラマ
1994年	リチャード・アッテンボロー	映画

●受賞（1948年第20回アカデミー賞）

4部門にノミネートされ3部門で受賞：脚色賞、原案賞

助演男優賞（エドモンド・グウェン）

■見どころ

- 現実主義者でなければ生きていけない。しかし、理想（夢）がなければ生きる意味がない。
- アメリカ映画らしいハッピー・エンド
- その後の活躍が垣間見える、子役ナタリー・ウッドの演技